

第2学年 組 保健体育科（保健分野）学習指導案

指導者

1 単元 傷害の防止（ア 交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因）

2 目標

- 交通事故や自然災害における傷害を防止するために必要な事柄に関心を持ち、仲間と協力して資料を集めたり、意見を交換したりしながら意欲的に学習しようとしている。（関心・意欲・態度）
- 交通事故や自然災害における傷害の防止について、自分の考えや経験、資料、仲間の意見や考えなどをもとに、課題を設定し考えたり工夫することができる。（思考、判断）
- 交通事故や自然災害における傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互の関わりによって発生するというを理解することができる。（知識、理解）

3 指導に当たって

本単元は、県学校教育指導方針「保健体育」の努力事項4「教えて考えさせる授業展開」の中の「実践力に結びつく知識の習得とそれらを活用して積極的に考え活動する場面を重視した保健学習の展開」を受けて、保健学習を通して、自ら健康な生活の維持向上を図っていく生徒の育成をめざすものである。

「学習指導要領解説－保健体育編－」によると、『交通事故や自然災害などによる傷害は、人的要因、環境要因及びそれらの相互のかかわりによって発生すること、人的要因としては人間の心身の状態や行動の仕方について、環境要因としては、生活環境における施設・設備の状態や気象条件などについて理解できるようにする。』とされている。

本学級の生徒は、元気で明るい生徒が多い。一方、話合い活動や意見を求められたときに、はっきり自分の意見を言うことができない生徒が多い。そこで、けがの原因を探る話合い活動を通して意見を活発に出し合い、みんなの前で発表することができるようにすることを目標としたい。

また、生徒は、小学校で交通事故や身の回りの生活の危険が要因となって起こるけがの防止、すり傷や鼻出血などの簡単な手当などを学習している。そこで本学習では、傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって傷害の多くは防止できること。応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解させたい。

4 評価規準（◎ はおおむね満足できる状況）

	ア 健康・安全への 関心・意欲・態度	イ 健康・安全についての 思考・判断	ウ 健康・安全についての 知識・理解
具体 の 評価 規 準	①事故の発生要因と防止について、 ◎ <u>自分のこととしてとらえ進んで</u> 調べようとしている。	①事故の発生要因と防止について、教師の支援や資料、仲間の発言をもとに◎ <u>自己の考えを分析</u> 、整理している。	①事故の発生要因には人的要因と環境要因があり、それらが相互にかかわり合っていることを◎ <u>具体的に</u> ワークシートに書いている。
	②交通事故の原因や防止策について、◎ <u>積極的に</u> 自分の考えをまとめ発表しようとしている。	②交通事故の現状と原因について、学習したことを生かし◎ <u>生活に当てはめて</u> 適切な行動を選択している。	②交通事故の現状と原因について、人、車両、道路と環境要因が複雑に絡み合っていることを知り、危険予測や危険回避について◎ <u>具体的に</u> ワークシートに書いている。
	③自然災害の現状と対策について、◎ <u>自分のこととしてとらえ進んで</u> 調べようとしている。	③自然災害の現状と対策について、◎ <u>これからの生活に当てはめ</u> 適切な行動を選択している。	③ 自然災害に対しての心構えや日頃の備えなど、◎ <u>具体的に</u> ワークシートに書いている。

5 指導計画（3時間扱い）

時間	1（本時）	2	3
学 習 内 容	1 中学生の事故やけがの防止 ・中学生のけがの発生状況 ・事故の発生要因	2 交通事故の現状と原因交通事故の防止 ・交通事故の現状と原因 ・人、車両、環境による発生原因 ・事故防止策	3 自然災害の現状と対策 ・自然災害の現状 ・自然災害への対策
評価 規 準	関	①	③
	思	①	③
	知	①	③

6 本時の学習

(1) 目標

- 事故の発生要因と防止について、自分のこととしてとらえ進んで調べようとしている。
(関心・意欲・態度)
 - 事故の発生要因と防止について、教師の支援や資料、仲間の発言をもとに自己の考えを分析、整理しワークシートにまとめることができる。
(思考・判断)
 - 事故の発生要因には人的要因と環境要因があり、それらが相互にかかわり合っていることをワークシートにまとめ、理解することができる。
(知識・理解)
- (2) 研究テーマとの関連
身近なケーススタディを実施することで、健康・安全の知識を活用し、思考力、判断力を育てるための話し合い活動を充実させたい。
- (3) 準備・資料
①ワークシート ②事故発生の要因の掲示物 ③事例文 (加藤君の悲惨な昼休み)
④分類表 (グループ) ⑤マジック ⑥分類表 (全体)
- (4) 展開

学習内容・活動	準備資料	指導上の留意点	評価の観点・方法
<p>事故の発生要因には人的要因と環境要因があり、多くの事故は双方がたがいに関連しあっていること。</p> <p>1 これまでの生活を振り返り、事故やけがをしたときの状況を発表する。</p> <p>2 本時の学習課題を知る。 けがや事故の発生要因と防止について知ろう。</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・自分の体験した、事故やけがの状況を具体的に振り返り、その時の様子や気持ちを整理し、発生要因を探る活動を通して、学習への意欲付けを図る。 ・一般的な中学生のけがの発生状況を教科書で確認する。 	<p><関・意・態①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故の発生要因と防止について、自分のこととしてとらえ進んで調べようとしているか。 <p>(観察・発表)</p>
<p>3 けがや事故の発生要因について知る。</p> <p>4 事例を読み、けがの発生要因を考える。</p> <p>(1) ワークシートに、けがの要因の検証結果を各自が記入する。</p> <p>(2) グループごとに、けがの要因を話し合い、分類する。</p> <p>(人的要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・心身の状態 (心理的特徴) ・行動の仕方 (規則や約束) ・性格 <p>(環境要因)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険な物の放置 ・施設の不備 ・自然環境の変化 <p>(3) 全体で分類結果を確認する。</p> <p>5 人的要因と環境要因への対策を確認する。</p> <p>6 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 本時の感想を書く。</p> <p>(2) 次時の活動を知る。</p>	<p>①</p> <p>②</p> <p>③</p> <p>①</p> <p>④</p> <p>⑤</p> <p>⑥</p> <p>⑤</p> <p>①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・けがや事故の発生には、人的要因と環境要因がたがいに関連しあっていることをワークシートで確認する。 ・事例をもとに、けがの発生要因を細かく検証する作業を通して、自分の生活態度と重ね合わせて考えられるようにする。 <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">個に対する主な支援 検証が進まずワークシートへの記入ができない生徒には、事例の文中にアンダーラインを引きポイントを与えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いの意見を出し合い、グループごとに人的要因と環境要因に分類、整理するよう助言する。 ・分類の結果を全体で確認する作業を通して、人的要因と環境要因が相互にかかわり合っていることを知り、事故防止の対策を確認する。 ・理解した内容を、今後の自分の生活にどう生かしていけるか等もワークシートに、記入することでそれぞれの考えを深化させ、実践へとつなげられるよう支援する。 	<p><知識・理解①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故の発生要因には人的要因と環境要因があり、それらが相互にかかわり合っていることをワークシートにまとめることができたか。 <p>(ワークシート)</p> <p><思考・判断①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故の発生要因と防止について、教師の支援や資料、仲間の発言をもとに自己の考えを分析、整理しワークシートにまとめることができたか。 <p>(ワークシート)</p>